

⑥ 大津橋

調査地点の特徴と変化状況

魚類相に、経年変化による顕著な差はみられなかった。
本調査地点は旧吉野川河口堰のほぼ直下流にある感潮域である。両岸とも護岸が施されており、水際にはヨシ帯が広がっている。底質は砂泥底で一部に礫が入っている。潮汐の影響を受け、干満の差も大きい。
確認種は平成14年度で17種、平成15年度で9種、平成16年度で13種、平成17年度で21種、平成18年度で25種、平成19年度で22種、平成20年度で19種、平成21年度で33種、平成22年度で33種、平成23年度で33種、平成24年度で33種、平成25年度で26種、平成26年度で33種、平成27年度で31種、平成28年度で35種、平成29年度で33種、平成30年度で40種、令和1年度で33種、令和2年度で30種、本年度の10月までの調査で37種が確認された。全調査期間を通して合計99種が確認され、魚種は14目45科と多様な分類群にわたっていた。最も多いハゼ科は21種であった。
出現頻度の高い魚種としては、スズキ、ボラ及びマハゼであり、本年度の10月までの調査でいずれも確認された(□破線で示した)。トウゴロイワシ、ヨシノゴチ、ミナミイケカツオ、ヒナハゼ、イトヒキハゼの種が、本年度初確認種である。

確認種の生活型と汚濁耐性種

汽水・海水魚の割合が高かった。出現種の生活型をみると、淡水魚はギンブナ(フナ属含む)、
、
、タイリクバラタナゴ、オイカワ、
、ニゴイ属、スゴモロコ属、カダヤシ、
占め、回遊魚は
、ウグイ、アユ、イセセンヨウウジ、テングヨウウジ、
、ウロハゼ及びビリンゴの8種、約8%であった。汚濁耐性のある種は、
、ギンブナ、
の11タイリクバラタナゴ、スゴモロコ属、カダヤシ、
、ウロハゼ及び
の11種と少ない傾向にあったが、これは濁度への適応性が判断できない汽水・海水魚が多く出現しているためである。

本年度の10月までの調査における出現状況は、37種のうち回遊魚が2種(約5%)、淡水魚は1種(約3%)、汽水・海水魚は34種(約92%)、汚濁耐性のある種は3種(約8%)確認された。
過年度調査の出現状況は、回遊魚が全体の20～18%、淡水魚が50～16%、汽水・海水魚が70～100%、汚濁耐性のある種が3～19%であり、過年度と同様の出現頻度であった。

確認種の生態的特性

魚種の多くは汽水・海水に生息する種であり、重要種も確認された。
確認種の生態的特性をみると、大半の魚種は汽水域で普通に見られる遊泳性(スズキ、キチヌ及びボラ等)または底生性(アカエイ、ハモ及びマハゼ等)の魚種であった。また、
、
、
、
の21種は環境省及び徳島県レッドデータブックな
どに指定されている重要種である。これらの重要種のうち、本年度の10月までの調査で確認できた種は、
の2種であった。

まとめ

本地点は旧吉野川河口堰に近い感潮域のため、魚類相は汽水・海水魚を中心とするが、淡水魚及び回遊魚もみられる。前年度までの結果を季節的にみると、夏季や秋季に確認魚種がやや多い傾向がみられるが、変動が大きい。これは水温のほかに、潮汐の影響も受けているためであると考えられる。なお、通水試験が始まった平成26年度以降および北部幹線が開通した平成29年度以降で、魚類の出現状況に大きな変化は見られていない。

表 2.6.1.6 大津橋における魚類確認種

年次	調査年度	調査月	調査日	調査時間	調査場所	調査者	調査方法	調査結果	調査備考
1	平成14年度	10	10/10	10:00～12:00	大津橋	佐藤 浩一	目視・網	17種	
2	平成15年度	10	10/10	10:00～12:00	大津橋	佐藤 浩一	目視・網	9種	
3	平成16年度	10	10/10	10:00～12:00	大津橋	佐藤 浩一	目視・網	13種	
4	平成17年度	10	10/10	10:00～12:00	大津橋	佐藤 浩一	目視・網	21種	
5	平成18年度	10	10/10	10:00～12:00	大津橋	佐藤 浩一	目視・網	25種	
6	平成19年度	10	10/10	10:00～12:00	大津橋	佐藤 浩一	目視・網	22種	
7	平成20年度	10	10/10	10:00～12:00	大津橋	佐藤 浩一	目視・網	19種	
8	平成21年度	10	10/10	10:00～12:00	大津橋	佐藤 浩一	目視・網	33種	
9	平成22年度	10	10/10	10:00～12:00	大津橋	佐藤 浩一	目視・網	33種	
10	平成23年度	10	10/10	10:00～12:00	大津橋	佐藤 浩一	目視・網	33種	
11	平成24年度	10	10/10	10:00～12:00	大津橋	佐藤 浩一	目視・網	33種	
12	平成25年度	10	10/10	10:00～12:00	大津橋	佐藤 浩一	目視・網	26種	
13	平成26年度	10	10/10	10:00～12:00	大津橋	佐藤 浩一	目視・網	33種	
14	平成27年度	10	10/10	10:00～12:00	大津橋	佐藤 浩一	目視・網	31種	
15	平成28年度	10	10/10	10:00～12:00	大津橋	佐藤 浩一	目視・網	35種	
16	平成29年度	10	10/10	10:00～12:00	大津橋	佐藤 浩一	目視・網	35種	
17	平成30年度	10	10/10	10:00～12:00	大津橋	佐藤 浩一	目視・網	33種	
18	令和1年度	10	10/10	10:00～12:00	大津橋	佐藤 浩一	目視・網	33種	
19	令和2年度	10	10/10	10:00～12:00	大津橋	佐藤 浩一	目視・網	30種	
20	令和3年度	10	10/10	10:00～12:00	大津橋	佐藤 浩一	目視・網	37種	

注)

- 表中の●は確認種であることを示す。
- 平成20年以前の確認状況は「確認回数/調査回数」で示した。
- 生活型 淡：淡水魚 回：回遊魚 汽・海：汽水・海水魚
- は濁度に比較的高い耐性のある種を示す
- の破線は出現頻度の高い種を示す
- 重要種の選定基準
①：「環境省レッドリスト2020」(環境省 2020年3月27日発表)
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧1A類、EN：絶滅危惧1B類、VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- 減のおそれのある地域個体群
②：「日本の希少な野生水生生物に関するデータブック」(水産庁編 1998年)
絶：絶滅危惧準種、危：危急種、希：希少種、減：減少種、傾：減少傾向、普：普通種
③：「徳島県レッドリスト(改訂版) 汽水・淡水魚類リスト」(徳島県 2014年)
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR-EN：絶滅危惧I類、VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、AN：留意、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- 外来種の選定基準
④：「特定外来生物等一覧」(環境省 2010年)
⑤：「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(環境省 2015年)
定着：定着予備外来種、総合：総合対策外来種、産業：産業管理外来種、国内：国内由来の総合対策外来種
⑥：「外来種ハンドブック」(日本生態学会 2002年)
外：外来種(国外移動) 内：国内移動

年度以降および北部幹線が開通した平成29年度以降で、魚類の出現状況に大きな変化は見られていない。

表 2.6.1.7 百石須における魚類確認種

衣 2.0.1.1. 日石炭における黒規性砒性

[illegible][illegible][illegible]

期日	55年度	56年度	57年度
1月	1月1日	1月1日	1月1日
2月	2月1日	2月1日	2月1日
3月	3月1日	3月1日	3月1日
4月	4月1日	4月1日	4月1日
5月	5月1日	5月1日	5月1日
6月	6月1日	6月1日	6月1日
7月	7月1日	7月1日	7月1日
8月	8月1日	8月1日	8月1日
9月	9月1日	9月1日	9月1日
10月	10月1日	10月1日	10月1日
11月	11月1日	11月1日	11月1日
12月	12月1日	12月1日	12月1日
合計	55年度	56年度	57年度

注) 1. 表中の●は確認種であることを示す。
2. 平成20年以前の確認状況は「確認回数/調査回数」で示した。
3. 生活型 淡: 淡水魚 回: 回遊魚 汽: 海 汽: 汽水 海水魚

4. ■は濁度に比較耐性のある種を示す
5. □の破線は出現頻度の高い種を示す
6. 垂直線の過半数は

①：「環境省レッドリスト2020」（環境省 2020年3月27日発表）

EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類、VU: 絶滅危惧 II 類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれる地域個体群

②:「日本の希少な野生水生生物に関するデータブック」(水産庁編 1998年)

⑤: 「特定外来生物等一覧」(環境省 2010 年)
 ④: 「我が国の生態系等被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(環境省 2015 年)
 ⑤: 定着・定着した外来種、総合: 総合対策外来種、産業: 産業管理外来種、国内: 国内由来の総合対策外来種
 ⑥: 「外生菌、ハシドブシ」(日本生態学会 2002 年)

7. 外来種の選定基準

⑤: 「特定外来生物等一覧」(環境省 2010 年)
 ④: 「我が国の生態系等被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(環境省 2015 年)
 ⑤: 定着・定着した外来種、総合: 総合対策外来種、産業: 産業管理外来種、国内: 国内由来の総合対策外来種
 ⑥: 「外生菌、ハシドブシ」(日本生態学会 2002 年)

表 2.6.1.7 百石須における魚類確認種

期号	期名	姓名	性别	出生日期 (14~20)	年龄段																								总成绩	名次																																																								
					14~15	15~16	16~17	17~18	18~19	19~20	20~21	21~22	22~23	23~24	24~25	25~26	26~27	27~28	28~29	29~30	30~31	31~32	32~33	33~34	34~35	35~36	36~37	37~38			38~39	39~40	40~41	41~42	42~43	43~44	44~45	45~46	46~47	47~48	48~49	49~50	50~51	51~52	52~53	53~54	54~55	55~56	56~57	57~58	58~59	59~60	60~61	61~62	62~63	63~64	64~65	65~66	66~67	67~68	68~69	69~70	70~71	71~72	72~73	73~74	74~75	75~76	76~77	77~78	78~79	79~80	80~81	81~82	82~83	83~84	84~85	85~86	86~87	87~88	88~89	89~90	90~91	91~92	92~93	93~94
1	14~15	15~16	16~17	17~18	18~19	19~20	20~21	21~22	22~23	23~24	24~25	25~26	26~27	27~28	28~29	29~30	30~31	31~32	32~33	33~34	34~35	35~36	36~37	37~38	38~39	39~40	40~41	41~42	42~43	43~44	44~45	45~46	46~47	47~48	48~49	49~50	50~51	51~52	52~53	53~54	54~55	55~56	56~57	57~58	58~59	59~60	60~61	61~62	62~63	63~64	64~65	65~66	66~67	67~68	68~69	69~70	70~71	71~72	72~73	73~74	74~75	75~76	76~77	77~78	78~79	79~80	80~81	81~82	82~83	83~84	84~85	85~86	86~87	87~88	88~89	89~90	90~91	91~92	92~93	93~94	94~95	95~96	96~97	97~98	98~99	99~100
2	14~15	15~16	16~17	17~18	18~19	19~20	20~21	21~22	22~23	23~24	24~25	25~26	26~27	27~28	28~29	29~30	30~31	31~32	32~33	33~34	34~35	35~36	36~37	37~38	38~39	39~40	40~41	41~42	42~43	43~44	44~45	45~46	46~47	47~48	48~49	49~50	50~51	51~52	52~53	53~54	54~55	55~56	56~57	57~58	58~59	59~60	60~61	61~62	62~63	63~64	64~65	65~66	66~67	67~68	68~69	69~70	70~71	71~72	72~73	73~74	74~75	75~76	76~77	77~78	78~79	79~80	80~81	81~82	82~83	83~84	84~85	85~86	86~87	87~88	88~89	89~90	90~91	91~92	92~93	93~94	94~95	95~96	96~97	97~98	98~99	99~100
3	14~15	15~16	16~17	17~18	18~19	19~20	20~21	21~22	22~23	23~24	24~25	25~26	26~27	27~28	28~29	29~30	30~31	31~32	32~33	33~34	34~35	35~36	36~37	37~38	38~39	39~40	40~41	41~42	42~43	43~44	44~45	45~46	46~47	47~48	48~49	49~50	50~51	51~52	52~53	53~54	54~55	55~56	56~57	57~58	58~59	59~60	60~61	61~62	62~63	63~64	64~65	65~66	66~67	67~68	68~69	69~70	70~71	71~72	72~73	73~74	74~75	75~76	76~77	77~78	78~79	79~80	80~81	81~82	82~83	83~84	84~85	85~86	86~87	87~88	88~89	89~90	90~91	91~92	92~93	93~94	94~95	95~96	96~97	97~98	98~99	99~100
4	14~15	15~16	16~17	17~18	18~19	19~20	20~21	21~22	22~23	23~24	24~25	25~26	26~27	27~28	28~29	29~30	30~31	31~32	32~33	33~34	34~35	35~36	36~37	37~38	38~39	39~40	40~41	41~42	42~43	43~44	44~45	45~46	46~47	47~48	48~49	49~50	50~51	51~52	52~53	53~54	54~55	55~56	56~57	57~58	58~59	59~60	60~61	61~62	62~63	63~64	64~65	65~66	66~67	67~68	68~69	69~70	70~71	71~72	72~73	73~74	74~75	75~76	76~77	77~78	78~79	79~80	80~81	81~82	82~83	83~84	84~85	85~86	86~87	87~88	88~89	89~90	90~91	91~92	92~93	93~94	94~95	95~96	96~97	97~98	98~99	99~100
5	14~15	15~16	16~17	17~18	18~19	19~20	20~21	21~22	22~23	23~24	24~25	25~26	26~27	27~28	28~29	29~30	30~31	31~32	32~33	33~34	34~35	35~36	36~37	37~38	38~39	39~40	40~41	41~42	42~43	43~44	44~45	45~46	46~47	47~48	48~49	49~50	50~51	51~52	52~53	53~54	54~55	55~56	56~57	57~58	58~59	59~60	60~61	61~62	62~63	63~64	64~65	65~66	66~67	67~68	68~69	69~70	70~71	71~72	72~73	73~74	74~75	75~76	76~77	77~78	78~79	79~80	80~81	81~82	82~83	83~84	84~85	85~86	86~87	87~88	88~89	89~90	90~91	91~92	92~93	93~94	94~95	95~96	96~97	97~98	98~99	99~100
6	14~15	15~16	16~17	17~18	18~19	19~20	20~21	21~22	22~23	23~24	24~25	25~26	26~27	27~28	28~29	29~30	30~31	31~32	32~33	33~34	34~35	35~36	36~37	37~38	38~39	39~40	40~41	41~42	42~43	43~44	44~45	45~46	46~47	47~48	48~49	49~50	50~51	51~52	52~53	53~54	54~55	55~56	56~57	57~58	58~59	59~60	60~61	61~62	62~63	63~64	64~65	65~66	66~67	67~68	68~69	69~70	70~71	71~72	72~73	73~74	74~75	75~76	76~77	77~78	78~79	79~80	80~81	81~82	82~83	83~84	84~85	85~86	86~87	87~88	88~89	89~90	90~91	91~92	92~93	93~94	94~95	95~96	96~97	97~98	98~99	99~100
7	14~15	15~16	16~17	17~18	18~19	19~20	20~21	21~22	22~23	23~24	24~25	25~26	26~27	27~28	28~29	29~30	30~31	31~32	32~33	33~34	34~35	35~36	36~37	37~38	38~39	39~40	40~41	41~42	42~43	43~44	44~45	45~46	46~47	47~48	48~49	49~50	50~51	51~52	52~53	53~54	54~55	55~56	56~57	57~58	58~59	59~60	60~61	61~62	62~63	63~64	64~65	65~66	66~67	67~68	68~69	69~70	70~71	71~72	72~73	73~74	74~75	75~76	76~77	77~78	78~79	79~80	80~81	81~82	82~83	83~84	84~85	85~86	86~87	87~88	88~89	89~90	90~91	91~92	92~93	93~94	94~95	95~96	96~97	97~98	98~99	99~100
8	14~15	15~16	16~17	17~18	18~19	19~20	20~21	21~22	22~23	23~24	24~25	25~26	26~27	27~28	28~29	29~30	30~31	31~32	32~33	33~34	34~35	35~36	36~37	37~38	38~39	39~40	40~41	41~42	42~43	43~44	44~45	45~46	46~47	47~48	48~49	49~50	50~51	51~52	52~53	53~54	54~55	55~56	56~57	57~58	58~59	59~60	60~61	61~62	62~63	63~64	64~65	65~66	66~67	67~68	68~69	69~70	70~71	71~72	72~73	73~74	74~75	75~76	76~77	77~78	78~79	79~80	80~81	81~82	82~83	83~84	84~85	85~86	86~87	87~88	88~89	89~90	90~91	91~92	92~93	93~94	94~95	95~96	96~97	97~98	98~99	99~100
9	14~15	15~16	16~17	17~18	18~19	19~20	20~21	21~22	22~23	23~24	24~25	25~26	26~27	27~28	28~29	29~30	30~31	31~32	32~33	33~34	34~35	35~36	36~37	37~38	38~39	39~40	40~41	41~42	42~43	43~44	44~45	45~46	46~47	47~48	48~49	49~50	50~51	51~52	52~53	53~54	54~55	55~56	56~57	57~58	58~59	59~60	60~61	61~62	62~63	63~64	64~65	65~66	66~67	67~68	68~69	69~70	70~71	71~72	72~73	73~74	74~75	75~76	76~77	77~78	78~79	79~80	80~81	81~82	82~83	83~84	84~85	85~86	86~87	87~88	88~89	89~90	90~91	91~92	92~93	93~94	94~95	95~96	96~97	97~98	98~99	99~100
10	14~15	15~16	16~17	17~18	18~19	19~20	20~21	21~22	22~23	23~24	24~25	25~26	26~27	27~28	28~29	29~30	30~31	31~32	32~33	33~34	34~35	35~36	36~37	37~38	38~39	39~40	40~41	41~42	42~43	43~44	44~45	45~46	46~47	47~48	48~49	49~50	50~51	51~52	52~53	53~54	54~55	55~56	56~57	57~58	58~59	59~60	60~61	61~62	62~63	63~64	64~65	65~66	66~67	67~68	68~69	69~70	70~71	71~72	72~73	73~74	74~75	75~76	76~77	77~78	78~79	79~80	80~81	81~82	82~83	83~84	84~85	85~86	86~87	87~88	88~89	89~90	90~91	91~92	92~93	93~94	94~95	95~96	96~97	97~98	98~99	99~100
11	14~15	15~16	16~17	17~18	18~19	19~20	20~21	21~22	22~23	23~24	24~25	25~26	26~27	27~28	28~29	29~30	30~31	31~32	32~33	33~34	34~35	35~36	36~37	37~38	38~39	39~40	40~41	41~42	42~43	43~44	44~45	45~46	46~47	47~48	48~49	49~50	50~51	51~52	52~53	53~54	54~55	55~56	56~57	57~58	58~59	59~60	60~61	61~62	62~63	63~64	64~65	65~66	66~67	67~68	68~69	69~70	70~71	71~72	72~73	73~74	74~75	75~76	76~77	77~78	78~79	79~80	80~81	81~82	82~83	83~84	84~85	85~86	86~87	87~88	88~89	89~90	90~91	91~92	92~93	93~94	94~95	95~96	96~97	97~98	98~99	99~100
12	14~15	15~16	16~17	17~18	18~19	19~20	20~21	21~22	22~23	23~24	24~25	25~26	26~27	27~28	28~29	29~30	30~31	31~32	32~33	33~34	34~35	35~36	36~37	37~38	38~39	39~40	40~41	41~42	42~43	43~44	44~45	45~46	46~47	47~48	48~49	49~50	50~51	51~52	52~53	53~54	54~55	55~56	56~57	57~58	58~59	59~60	60~61	61~62	62~63	63~64	64~65	65~66	66~67	67~68	68~69	69~70	70~71	71~72	72~73	73~74	74~75	75~76	76~77	77~78	78~79	79~80	80~81	81~82	82~83	83~84	84~85	85~86	86~87	87~88	88~89	89~90	90~91	91~92	92~93	93~94	94~95	95~96	96~97	97~98	98~99	99~100
13	14~15	15~16	16~17	17~18	18~19	19~20	20~21	21~22	22~23	23~24	24~25	25~26	26~27	27~28	28~29	29~30	30~31	31~32	32~33	33~34	34~35	35~36	36~37	37~38	38~39	39~40	40~41	41~42	42~43	43~44	44~45	45~46	46~47	47~48	48~49	49~50	50~51	51~52	52~53	53~54	54~55	55~56	56~57	57~58	58~59	59~60	60~61	61~62	62~63	63~64	64~65	65~66	66~67	67~68	68~69	69~70	70~71	71~72	72~73	73~74	74~75	75~76	76~77	77~78	78~79	79~80	80~81	81~82	82~83	83~84	84~85	85~86	86~87	87~88	88~89	89~90	90~91	91~92	92~93	93~94	94~95	95~96	96~97	97~98	98~99	99~100
14	14~15	15~16	16~17	17~18	18~19	19~20	20~21	21~22	22~23	23~2																																																																												

(注) 1. 表中の●は確認種であることを示す。

2. 平成 20 年以前の確認状況は「確認回数/調査回数」で示した。
3. 生活型 淡：淡水魚 回：回遊魚 汽：海：汽水・海水魚
4. ■は満度には比較的耐性のある種を示す
5. □の破線は出現頻度の高い種を示す
6. 重要種の選定基準
- ①：「環境省レッドリスト 2020」（環境省 2020 年 3 月 27 日発表）
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧 IA 類、EN：絶滅危惧 IB 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ②：「日本の希少な野生水生生物に関するデータベース」(水産庁編 1998 年)
絶：絶滅危惧種、危：希少種、減：減少種、傾：減少傾向、普：普通種
- ③：「絶滅危惧レッドリスト（改訂版）汽水・淡水魚類リスト」（徳島県 2014 年）
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧 I 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、AN：留意、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
7. 外来種の選定基準
- ④：「特定外来生物等一覧」（環境省 2010 年）
- ⑤：「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（環境省 2015 年）
定着：定着・予防外来種、総合：総合対策外来種、産業：産業管理外来種、国内：国内由来の総合対策外来種
- ⑥：「外来種ハンドブック」（日本生態学会 2002 年）
外：外来種（国外移動） 内：国内移動

2) アユの生息状況調査

・令和3年度の傾向

本年度の吉野川本線では、湖上期に河川流量があったのでアユの湖上には問題がなかったと考えられる。生息密度については、一昨年度減少から回復傾向が見られる。しかしながら、多くのアユが湖上したことと考えられるものの、カワウの捕食の影響などもあり、減少しているものも想定される。

採捕尾数については、近年少なかった西条大橋地点で数多く採捕することができた。

・調査日の状況

現地調査を実施した平成16年度(1992)～令和3年度(2021)の阿波中央橋地点における流量の半旬変化(赤折線)を下図に示す。

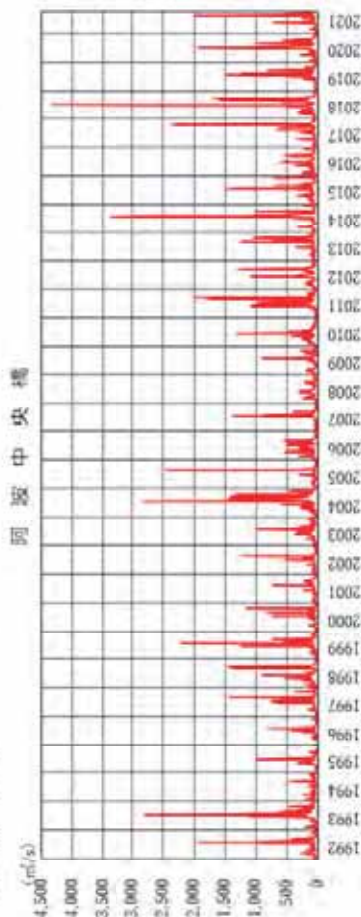


図2.6.2.4 阿波中央橋地点での流量

・調査日及び調査地点(令和3年度)

調査地点	調査手法	春季		夏季		秋季	
		潜水観察 採	潜水観察 捕	潜水観察 採	潜水観察 捕	潜水観察 採	潜水観察 捕
吉野川	宇島橋			6月16日	7月28日	10月27日	
	川島橋			6月16日	7月27日	10月26日	
	西条大橋			6月16日	7月28日	10月27日	
	高瀬橋			6月17日	7月29日	10月28日	

・湖上の状況

本年度のアユ湖上数は、旧吉野川河口堰で1,057,650尾、今切川河口堰で912,980尾、両河口堰の湖上数を合算すると1,970,630尾であった。過去の湖上数と比較すると旧吉野川河口堰の湖上数は、昨年度の221%で、平成2年以降の32回(年)の調査中、上位10番目に当たる湖上数である。また、今切川河口堰の湖上数は、昨年度の267%で、平成2年以降の32回(年)の調査中、上位13番目に当たる湖上数である。

なお、両河口堰合算の湖上数は、昨年度の240%で、平成2年以降の32回(年)の調査中、上位13番目に当たる湖上数である。

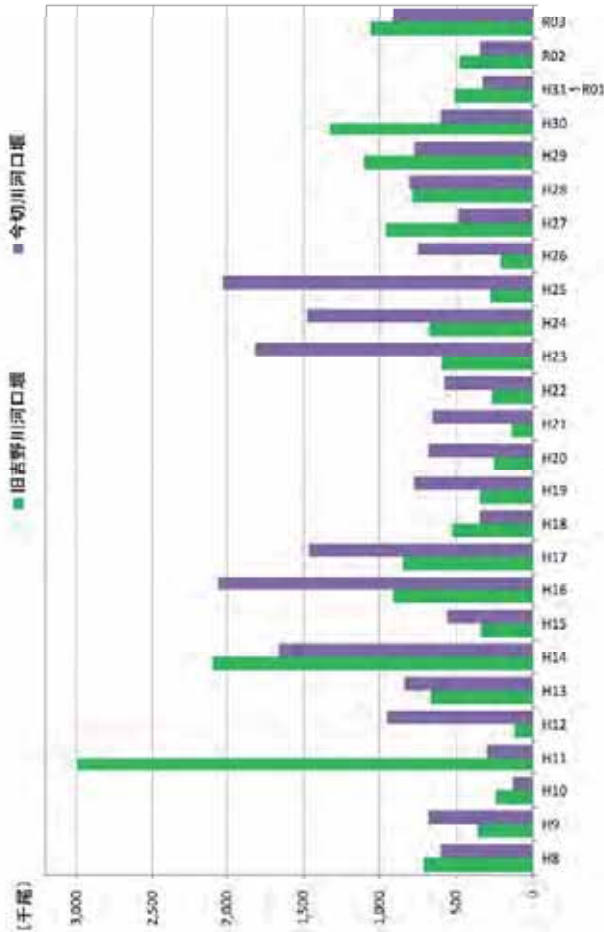


図2.6.2.2 旧吉野川および今切川河口堰における平成8年～令和3年のアユ湖上数の経年変化

出典：独立行政法人 水資源機構 吉野川河口堰調査所
「河口堰アユ湖上調査報告」2021.7. p.9

・気体測定結果

①春季調査

春季調査において採捕されたアユの尾数をみると、平成21年度以降、川島橋で多く採捕され、学島橋で少ない傾向であるが、本年度調査では、全地点で採捕することができた。

採捕されたアユの体長・体重・肥満度は、川島橋地点では増加傾向だが、それ以外は減少傾向である。

表 2.6.2.5 採捕されたアユの尾数

項目	年度	学島橋	川島橋	調査地点	西条大橋	高瀬橋
採捕 尾数	H15	—	—	—	—	9
	H16	—	—	—	—	—
	H17	31	35	35	35	35
	H18	—	—	—	—	—
	H19	0	2	35	60	—
	H20	—	—	—	—	—
	H21	0	104	29	6	—
	H22	2	124	1	1	1
	H23	0	31	13	29	—
	H24	17	86	42	29	—
	H25	3	64	71	18	—
	H26	0	>101	50	37	—
	H27	2	>106	43	42	—
	H28	6	>101	53	187	—
	H29	1	>103	112	67	—
	H30	0	86	172	129	—
	H31	2	22	15	43	—
	R2	0	9	73	0	77
	R3	6	34	59	100	—

注：「—」は調査なし

表 2.6.2.6 採捕されたアユの体長

年度	学島橋	川島橋	調査地点	西条大橋	高瀬橋
H15	—	—	—	10.8(10.1～12.0)	—
H16	—	—	—	—	—
H17	8.0(7.2～9.5)	7.8(7.1～9.0)	7.9(5.0～11.1)	8.3(5.0～12.8)	—
H18	—	—	—	—	—
H19	—	11.4(11.2～11.5)	8.9(6.4～13.7)	9.9(7.1～14.2)	—
H20	—	—	—	—	—
H21	—	13.2(10.4～15.6)	8.0(6.0～10.3)	8.6(7.2～10.5)	—
H22	10.8(8.8～12.8)	11.4(9.7～14.8)	8.7(6.1～11.0)	7.7(6.1～13.6)	7.1
H23	—	14.6(12.3～18.7)	8.0(5.5～12.5)	7.7(6.0～9.7)	—
H24	10.9(8.4～13.2)	10.6(5.9～13.7)	7.5(5.7～9.8)	6.1(5.4～7.5)	—
H25	8.5(6.7～10.7)	12.8(8.6～17.0)	6.3(4.5～8.2)	6.7(5.4～8.4)	—
H26	—	12.4(10.2～17.8)	7.2(5.6～9.7)	6.8(5.2～8.8)	—
H27	7.9(7.0～8.8)	12.9(6.6～16.2)	7.2(5.4～10.2)	6.5(5.1～8.8)	—
H28	8.3(7.7～9.3)	11.7(9.7～14.7)	8.6(5.1～12.8)	6.7(5.1～9.8)	—
H29	7.0(7.0～7.0)	13.6(8.9～15.3)	8.6(5.1～12.8)	6.6(4.7～8.0)	—
H30	—	12.0(8.2～16.0)	7.1(5.2～9.5)	6.6(4.7～8.0)	—
H31	10.0(9.8～10.2)	11.7(7.6～14.2)	9.1(8.0～12.2)	8.6(5.9～12.0)	—
R2	—	—	—	—	—
R3	7.9(6.0～12.0)	13.5(7.9～15.9)	8.7(7.3～12.2)	8.0(6.4～9.3)	—

注：「—」は調査なし もしくは、採捕数が無い

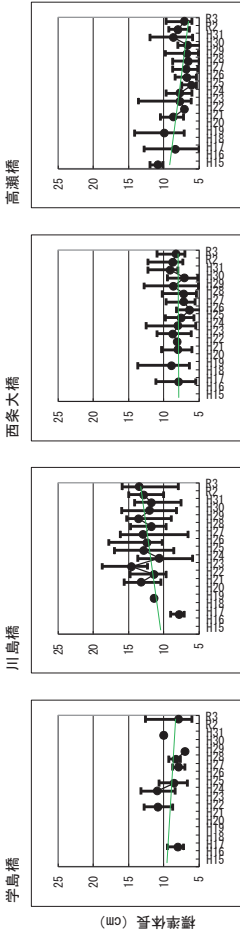


図 2.6.2.7 採捕されたアユの体長

表 2.6.2.7 採捕されたアユの体重

年度	学島橋	川島橋	調査地点	西条大橋	高瀬橋
H15	—	—	—	—	18.2(14.4～21.6)
H16	—	—	—	—	—
H17	7.3(5.4～12.4)	7.2(5.2～11.5)	7.0(2.0～18.2)	10.1(1.4～29.4)	—
H18	—	—	—	—	—
H19	—	19.8(18.8～20.8)	10.1(2.9～30.9)	14.0(4.0～43.3)	—
H20	—	—	—	—	—
H21	—	35.2(14.6～58.0)	7.5(3.0～15.0)	7.8(4.0～16.0)	—
H22	14.5(6.0～23.0)	18.6(7.0～43.0)	4.0	—	—
H23	—	43.4(28.0～63.0)	7.5(3.0～14.0)	5.2(2.0～27.0)	—
H24	15.8(6.0～27.0)	16.7(3.0～31.0)	6.8(2.0～10.0)	3.3(2.0～6.0)	—
H25	9.0(4.0～16.0)	26.6(5.1～57.0)	5.1(2.0～6.0)	3.9(1.0～8.0)	—
H26	—	24.3(14.0～64.0)	2.7(1.0～6.0)	4.2(2.0～8.0)	—
H27	6.5(4.0～9.0)	30.7(4.0～59.0)	4.9(2.0～11.0)	3.1(1.0～8.0)	—
H28	7.2(6.0～9.0)	24.5(12.0～49.0)	4.9(2.0～14.0)	2.2(1.0～6.0)	—
H29	4.0(4.0～4.0)	36.4(8.0～52.0)	8.7(2.0～28.0)	3.0(1.0～6.0)	—
H30	—	23.3(6.0～55.0)	4.1(1.0～10.0)	3.0(1.0～6.0)	—
H31	13.0(12.0～14.0)	24.3(6.0～42.0)	8.9(5.0～23.0)	8.5(3.0～20.0)	—
R2	—	29.4(12.0～43.0)	8.6(5.0～24.0)	6.1(3.0～9.0)	—
R3	6.2(2.0～18.0)	37.6(7.0～66.0)	6.4(3.0～14.0)	4.2(2.0～8.0)	—

注：「—」は調査なし もしくは、採捕数が無い

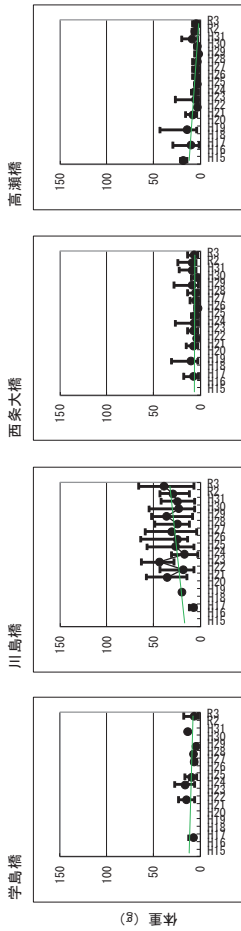


図 2.6.2.8 採捕されたアユの体重

表 2.6.2.8 採捕されたアユの肥満度

年度	学島橋	川島橋	調査地点	西条大橋	高瀬橋
H15	—	—	—	—	—
H16	—	—	—	—	—
H17	14.3(12.2～16.8)	14.9(13.1～17.5)	13.3(11.1～15.4)	13.3(11.0～16.5)	—
H18	—	—	—	—	—
H19	—	13.5(13.4～13.7)	12.3(10.5～14.2)	12.9(8.6～16.0)	—
H20	—	—	—	—	—
H21	—	14.9(7.6～18.7)	13.6(10.3～16.6)	11.1(8.4～13.8)	—
H22	9.9(8.8～11.0)	12.4(6.6～17.5)	7.5	8.4	—
H23	—	13.9(9.3～16.7)	10.9(6.2～13.2)	10.1(6.1～14.6)	—
H24	11.6(9.8～13.5)	13.5(9.7～17.0)	12.1(7.7～19.5)	12.3(8.8～14.0)	—
H25	13.3(13.1～13.7)	12.4(10.7～14.2)	11.4(6.1～16.2)	14.2(8.4～19.1)	—
H26	—	12.5(8.7～16.7)	10.6(6.1～16.0)	13.0(6.4～18.5)	—
H27	12.4(11.7～13.2)	13.6(8.7～16.9)	13.1(9.6～16.8)	12.8(9.7～17.4)	—
H28	12.6(9.9～14.2)	14.7(12.6～21.0)	12.2(8.4～17.1)	11.1(4.0～19.5)	—
H29	11.7(11.7～11.7)	14.3(10.2～17.8)	12.4(6.4～18.0)	6.5(3.5～14.6)	—
H30	—	12.9(9.9～17.4)	11.4(5.7～19.1)	10.2(5.7～17.1)	—
H31	13.0(12.7～13.2)	14.1(10.7～16.6)	11.2(9.1～13.6)	13.0(10.3～16.6)	—
R2	—	13.7(12.0～16.0)	12.0(9.1～14.8)	11.6(8.1～16.8)	—
R3	9.9(8.8～10.5)	14.5(12.3～17.3)	10.9(5.2～15.4)	11.7(7.4～16.8)	—

注：「—」は調査なし もしくは、採捕数が無い

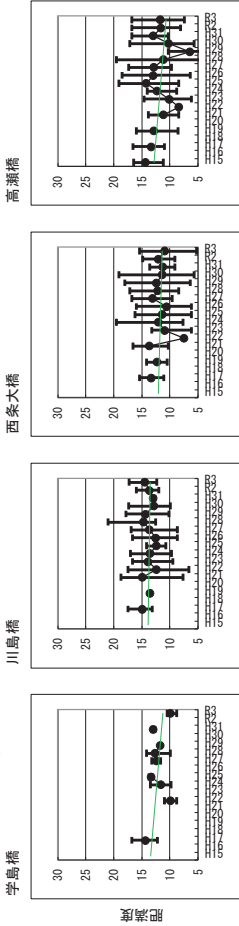


図 2.6.2.9 採捕されたアユの肥満度

②夏季調査

夏季調査においても全地点でアユが採捕された。うち、西条大橋地点と川島橋地点で特に多かった。採捕されたアユの体長・体重は減少傾向にあるなか、肥満度は、昨年度よりも増加している。

表 2.6.2.9 採捕されたアユの尾数

	調査地点			
	学島橋	川島橋	西条大橋	高瀬橋
採捕 尾数	H15	—	2	10
	H16	15	33	14
	H17	13	8	38
	H18	1	6	16
	H19	0	30	15
	H20	1	20	8
	H21	1	21	6
	H22	0	90	4
	H23	0	7	17
	H24	0	8	2
	H25	2	61	7
	H26	1	28	100
	H27	21	>109	16
	H28	0	>103	62
	H29	7	24	12
	H30	0	71	87
	H31	0	>105	96
	R2	0	12	2
	R3	1	33	8
	R2	6	50	11

注：「—」は調査なし

表 2.6.2.10 採捕されたアユの体長

年度	調査地点			
	学島橋	川島橋	西条大橋	高瀬橋
H15	15.5(13.3~17.3)	12.5(10.0~15.0)	18.6(18.5~18.6)	14.7(10.9~20.6)
H16	13.5(11.7~16.2)	14.6(13.6~15.7)	13.4(9.0~17.4)	16.9(13.1~19.0)
H17	14.0	17.7(16.2~19.3)	11.4(9.9~12.4)	10.1(7.3~15.2)
H18	—	14.5(11.8~19.4)	12.1(6.8~20.4)	9.4(6.8~11.8)
H19	9.0	16.5(14.5~20.5)	9.8(7.9~13.2)	10.7(7.8~16.1)
H20	14.0	18.8(16.5~20.0)	9.3(6.9~16.0)	11.5(10.9~12.0)
H21	—	15.1(7.5~18.3)	9.8(6.6~15.3)	17.4(14.5~19.0)
H22	—	16.8(14.6~18.0)	10.2(8.4~15.6)	12.2(9.2~15.2)
H23	—	13.8(7.7~18.5)	8.9(6.5~12.6)	12.8(6.9~17.6)
H24	11.6(11.2~12.0)	15.5(6.0~20.8)	8.5(6.0~11.2)	11.6(8.1~17.6)
H25	—	15.6(8.7~20.0)	8.2(6.4~12.8)	10.2(7.1~13.8)
H26	11.4	15.6(8.7~20.0)	8.2(6.4~12.8)	7.3(5.0~14.9)
H27	11.6(2~16.4)	15.8(7.9~19.3)	7.2(5.8~12.8)	7.3(5.0~14.9)
H28	—	14.2(11.4~18.8)	8.3(4.9~11.5)	7.8(5.2~11.4)
H29	11.6(7.9~15.7)	15.0(9.1~17.5)	8.1(5.2~11.0)	7.8(5.1~11.4)
H30	—	13.8(7.9~16.3)	7.2(5.6~12.7)	6.9(5.5~8.5)
H31	—	17.0(16.0~18.9)	7.2(5.6~12.7)	9.3(9.2~9.3)
H32	—	17.0(16.0~18.9)	7.2(5.6~12.7)	9.3(9.2~9.3)
R1	10.1(10.1~10.1)	15.9(13.1~20.0)	8.5(8.5~8.5)	8.9(8.3~9.7)
R2	11.2(10.6~11.6)	16.7(13.1~20.0)	9.6(6.7~12.4)	8.7(7.8~10.5)

注：「—」は調査なし もしくは、採捕数が無い。

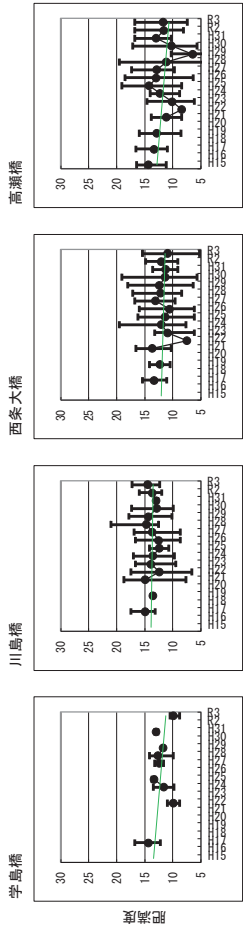


図 2.6.2.10 採捕されたアユの体長

表 2.6.2.11 採捕されたアユの体重

	年度	調査地点			
		学島橋	川島橋	西条大橋	高瀬橋
体重 (g)	H15		—	73.4 (66.0 ~ 80.4)	47.6 (12.5 ~ 118.0)
	H16	55.6 (28.5 ~ 67.2)	28.8 (12.3 ~ 53.5)	74.0 (38.0 ~ 74.1)	74.0 (36.3 ~ 107.8)
	H17	40.5 (22.0 ~ 73.8)	44.6 (34.2 ~ 56.0)	37.5 (20.0 ~ 66.5)	16.0 (4.4 ~ 53.3)
	H18	35.4	81.3 (60.4 ~ 99.9)	20.9 (14.4 ~ 25.4)	14.4 (5.2 ~ 24.4)
	H19	—	48.5 (25.2 ~ 101.0)	29.6 (3.7 ~ 104.9)	19.8 (7.1 ~ 54.7)
	H20	7.2	59.8 (40.9 ~ 117.6)	12.5 (5.6 ~ 30.2)	19.7 (5.3 ~ 24.1)
	H21	42.0	92.5 (64.0 ~ 116.0)	11.3 (4.0 ~ 35.0)	62.4 (36.0 ~ 77.0)
	H22	—	46.9 (8.0 ~ 81.0)	15.8 (3.0 ~ 40.0)	23.2 (6.0 ~ 40.0)
	H23	—	64.1 (44.0 ~ 80.0)	15.4 (7.0 ~ 46.0)	38.0 (5.0 ~ 80.0)
	H24	—	43.7 (8.0 ~ 92.0)	9.6 (3.0 ~ 23.0)	21.2 (6.0 ~ 68.0)
	H25	22.0 (9.0 ~ 25.0)	51.0 (4.0 ~ 117.0)	8.2 (2.0 ~ 18.0)	15.2 (3.0 ~ 25.0)
	H26	18.0	54.1 (6.0 ~ 106.0)	6.9 (3.0 ~ 21.0)	13.6 (3.0 ~ 32.0)
	H27	21.1 (2.0 ~ 49.0)	51.9 (4.0 ~ 93.0)	4.0 (2.0 ~ 15.0)	4.3 (2.0 ~ 35.0)
	H28	—	45.6 (23.0 ~ 104.0)	8.3 (3.0 ~ 22.0)	6.3 (2.0 ~ 20.0)
	H29	19.4 (5.0 ~ 46.0)	52.8 (7.0 ~ 86.0)	6.9 (1.0 ~ 17.0)	6.5 (1.0 ~ 22.0)
	H30	—	38.0 (6.0 ~ 55.0)	4.7 (2.0 ~ 21.0)	3.8 (2.0 ~ 7.0)
	H31	—	62.6 (52.0 ~ 75.0)	23.8 (5.0 ~ 46.0)	9.0 (9.0 ~ 9.0)
	R2	13.0 (13.0 ~ 13.0)	47.8 (31.0 ~ 94.0)	6.0 (6.0 ~ 6.0)	8.3 (7.0 ~ 12.0)
R3	18.0 (16.0 ~ 20.0)	67.5 (28.0 ~ 122.0)	12.4 (4.0 ~ 26.0)	2.5 (5.0 ~ 15.0)	

注：「—」は調査なし もしくは、採捕数が無い。

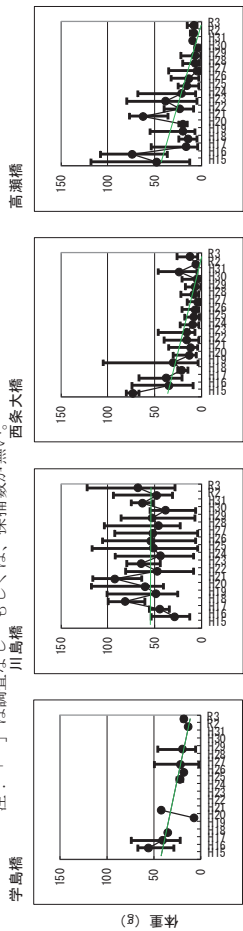


図 2.6.2.11 採捕されたアユの体重

表 2.6.2.12 採捕されたアユの肥満度

年度	調査地点			
	学島橋	川島橋	西条大橋	高瀬橋
H15	—	—	11.5(10.5~12.5)	12.6(11.4~13.9)
H16	14.7(10.4~16.5)	14.1(11.4~16.5)	13.3(10.2~16.2)	15.0(11.1~16.1)
H17	15.7(13.7~18.1)	14.3(13.0~15.7)	15.5(12.5~18.6)	13.5(11.2~17.3)
H18	12.9	14.7(13.9~15.4)	14.2(11.7~18.8)	15.1(13.0~16.5)
H19	—	16.2(11.4~59.9)	13.3(10.4~26.8)	14.4(12.9~16.4)
H20	9.9	13.2(11.4~15.4)	12.0(9.4~14.1)	12.9(11.8~13.9)
H21	15.3	13.8(12.1~14.9)	11.9(8.5~15.2)	11.6(10.3~12.2)
H22	—	13.3(11.1~19.0)	12.0(10.4~14.6)	12.3(10.3~17.8)
H23	—	13.4(12.1~14.1)	12.9(11.8~14.6)	14.5(11.9~16.5)
H24	—	15.2(12.1~20.0)	12.4(10.3~14.6)	12.4(11.0~14.7)
H25	14.0(13.5~14.5)	12.2(10.0~17.1)	12.0(6.4~14.6)	12.7(9.4~16.5)
H26	12.1	13.7(9.1~17.1)	11.6(8.7~14.7)	12.0(7.1~23.3)
H27	9.4(4.4~12.6)	12.6(9.5~14.8)	10.0(5.7~15.2)	9.8(6.3~17.6)
H28	—	15.3(5.4~21.1)	13.8(9.1~25.5)	12.0(4.6~21.6)
H29	12.2(10.1~13.8)	13.6(11.9~16.7)	12.2(8.5~17.6)	11.1(7.6~13.9)
H30	—	13.6(11.1~14.8)	12.9(6.2~18.3)	11.4(11.2~11.6)
H31	—	12.8(11.1~14.8)	12.9(6.2~18.3)	11.5(10.2~13.1)
R2	12.6(12.6~12.6)	11.8(9.1~13.9)	9.8(9.8~9.8)	11.5(10.2~13.1)
R3	13.0(11.8~14.3)	14.0(11.9~15.9)	13.2(10.5~15.6)	11.6(8.7~14.0)

注：「—」は調査なし もしくは、採捕数が無い。

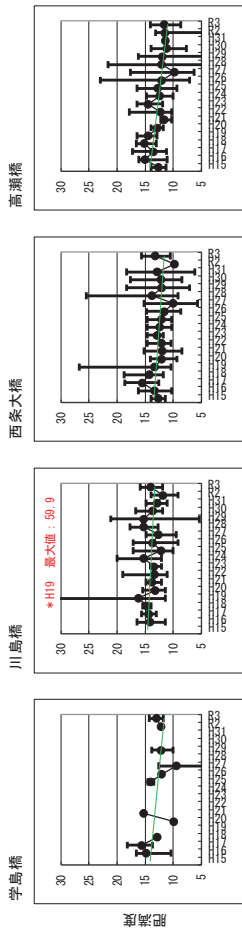


図 2.6.2.12 採捕されたアユの肥満度

③秋季調査

本年度の秋季調査では、僅かであるが学島橋地点でも捕獲し、全地点で採捕できた。特に、川島橋地点と西条大橋地点では、網に掛かるアユ以上に魚影を確認したので、より多くのアユが息を休めていたことが推察される。地元関係者の聞取りでは、調査日の数日前には、学島橋地点と高瀬橋地点でも多くのアユの水面上での跳ね確認していることから、本年度のアユは、豊富であったことが推察される。

採捕されたアユの体長、体重、肥満度は、ばらつきがあり、小さな(軽い)個体もいれば、大きな(重い)個体も確認できたが、全体的に肥満度が高かった。

表 2.6.2.13 採捕されたアユの尾数

	年度	調査地点			
		学島橋	川島橋	西条大橋	高瀬橋
採捕 尾数	H15	—	—	—	>30
	H16	0	14	13	33
	H17	4	—	—	33
	H18	34	2	19	3
	H19	0	61	6	30
	H20	2	15	4	11
	H21	25	36	16	183
	H22	149	14	357	1
	H23	1	38	1	>100
	H24	1	98	>102	65
	H25	132	129	46	100
	H26	0	26	90	2
	H27	9	>102	118	>140
	H28	105	105	132	132
	H29	22	8	65	0
	H30	0	91	18	2
	H31	0	45	0	4
	R2	0	51	0	101
	R3	2	100	105	62

注：「—」は調査なし

表 2.6.2.14 採捕されたアユの体長

	年度	調査地点			
		学島橋	川島橋	西条大橋	高瀬橋
体長 (cm)	H15	—	—	—	19.1(16.5~23.6)
	H16	14.5(13.3~15.5)	18.2(16.7~19.6)	15.2(13.5~17.5)	16.5(14.1~19.6)
	H17	15.9(10.4~20.8)	—	—	14.4(9.8~19.0)
	H18	—	19.0(18.2~19.8)	12.2(9.9~15.3)	12.6(9.8~16.2)
	H19	—	17.6(13.9~23.8)	13.8(11.1~16.0)	14.0(9.8~17.3)
	H20	—	19.1(16.5~21.4)	10.8(9.5~12.3)	14.2(12.6~16.0)
	H21	17.5(13.5~21.5)	19.5(17.1~22.9)	12.7(10.3~20.5)	16.7(11.2~23.6)
	H22	16.9(12.0~21.0)	18.8(12.0~22.5)	12.7(9.1~16.7)	14.8(10.0~22.3)
	H23	17.9	18.0(14.9~20.6)	15.3(10.0~21.5)	13.1
	H24	16.6	17.8(13.7~22.0)	17.7(14.2~21.0)	13.9(10.7~21.0)
	H25	14.8(10.0~18.5)	16.1(11.7~21.6)	15.6(10.9~21.2)	15.2(9.2~19.8)
	H26	—	18.4(15.6~24.0)	15.7(10.4~25.8)	13.2(13.0~13.4)
	H27	15.5(14.3~16.7)	18.3(12.0~23.8)	15.9(8.3~23.5)	10.4(7.6~17.5)
	H28	18.9(14.6~22.9)	18.8(15.3~23.9)	14.7(7.4~23.0)	13.3(8.1~17.9)
	H29	14.2(11.2~18.0)	17.4(14.3~21.2)	16.1(8.7~22.5)	—
	H30	—	17.1(13.4~22.6)	12.4(10.0~15.7)	15.9(14.5~17.3)
	H31	—	20.9(11.5~26.1)	—	18.8(14.8~17.9)
	R2	—	19.9(16.6~22.6)	—	18.4(13.3~23.1)
	R3	16.3(14.5~18.0)	19.3(15.4~24.2)	18.0(10.0~25.4)	14.9(10.8~24.7)

注：「—」は調査なし もしくは、採捕数が無い。

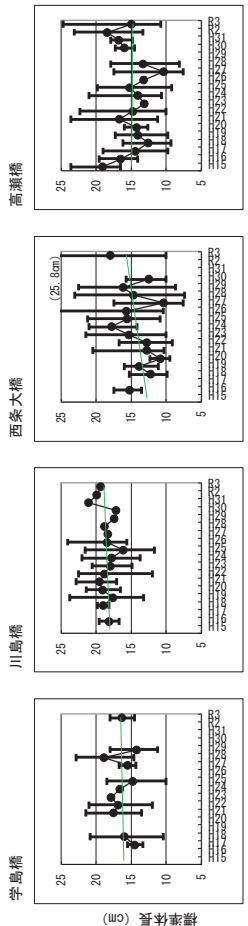


図 2.6.2.13 採捕されたアユの体長

表 2.6.2.15 採捕されたアユの体重

	年度	調査地点			
		学島橋	川島橋	西条大橋	高瀬橋
体重 (g)	H15	—	—	—	102.0(62.9~171.0)
	H16	30.3(20.5~40.6)	88.7(68.9~114.6)	41.0(27.2~62.7)	61.0(38.4~108.2)
	H17	56.4(17.3~131.5)	—	—	44.5(11.1~88.6)
	H18	—	95.3(91.2~99.3)	26.0(17.0~42.1)	31.7(8.7~57.5)
	H19	—	88.1(29.0~212.0)	37.0(20.0~53.0)	35.8(13.0~64.0)
	H20	—	105.5(69.4~144.0)	21.7(14.6~26.5)	39.0(22.9~55.6)
	H21	78.5(42.0~115.0)	102.3(71.0~156.0)	32.6(14.0~101.0)	57.4(19.0~148.0)
	H22	64.1(32.0~116.0)	85.0(38.0~144.0)	28.3(11.0~58.0)	39.7(12.0~128.0)
	H23	59.0	67.9(39.0~102.0)	40.0(11.0~90.0)	17.0
	H24	51.0	69.6(31.0~113.0)	66.6(30.0~116.0)	33.9(14.0~106.0)
	H25	41.3(13.0~75.0)	54.3(17.0~108.0)	44.3(15.0~101.0)	37.9(10.0~75.0)
	H26	—	71.8(42.0~156.0)	41.7(11.0~115.0)	24.0
	H27	44.9(30.0~73.0)	87.3(20.0~206.0)	61.7(5.0~178.0)	15.3(4.0~74.0)
	H28	77.4(22.0~130.0)	86.3(42.0~195.0)	40.4(2.0~132.0)	23.5(6.0~64.0)
	H29	34.3(15.0~54.0)	55.9(30.0~93.0)	40.1(6.0~94.0)	—
	H30	—	64.9(34.0~145.0)	25.6(14.0~46.0)	49.5(41.0~58.0)
	H31	—	127.3(67.0~251.0)	—	55.8(35.0~65.0)
	R2	—	104.9(59.0~165.0)	—	81.0(31.0~224.0)
	R3	52.5(38.0~67.0)	100.6(54.0~180.0)	82.9(18.0~184.0)	48.2(15.0~205.0)

注：「—」は調査なし もしくは、採捕数が無い。

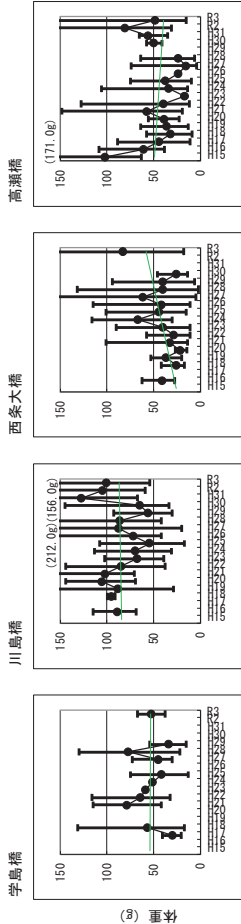


図 2.6.2.15 採捕されたアユの体重

表 2.6.2.16 採捕されたアユの肥満度

	年度	調査地点			
		学島橋	川島橋	西条大橋	高瀬橋
肥満度	H15	—	—	—	14.5(11.5~23.6)
	H16	—	14.7(12.4~16.9)	11.4(9.1~14.7)	13.6(10.9~16.8)
	H17	9.8(8.7~10.9)	—	—	13.8(11.8~17.3)
	H18	13.4(10.7~17.2)	14.0(12.8~15.1)	14.2(10.7~21.7)	12.4(10.8~15.9)
	H19	—	14.6(11.6~19.6)	13.8(12.9~14.6)	12.7(10.0~15.2)
	H20	—	15.1(13.3~17.4)	17.6(12.9~23.6)	13.2(11.4~14.1)
	H21	14.3(11.6~17.1)	13.5(10.3~15.7)	14.9(11.3~23.5)	11.7(7.0~22.5)
	H22	12.5(10.7~14.9)	12.4(8.9~16.3)	12.4(10.5~14.6)	7.6
	H23	10.3	11.4(8.4~14.0)	10.9(7.6~16.8)	11.6(9.3~15.1)
	H24	11.1	12.2(7.6~15.8)	11.7(9.1~18.0)	9.8(6.6~13.7)
	H25	12.3(6.7~16.3)	12.5(8.8~16.4)	11.0(8.2~13.6)	10.4(10.0~10.9)
	H26	—	11.3(9.1~13.3)	10.2(6.2~17.2)	13.1(7.2~19.0)
	H27	11.9(9.9~15.7)	13.7(9.2~17.9)	13.2(6.6~24.0)	11.6(8.9~15.0)
	H28	11.3(5.5~19.8)	12.7(9.1~17.1)	11.1(1.3~16.0)	—
	H29	11.8(9.0~16.1)	10.2(9.2~11.6)	8.9(6.9~13.8)	12.3(11.2~13.4)
	H30	—	12.8(8.9~16.8)	13.0(9.8~18.0)	11.5(10.8~12.0)
	H31	—	14.6(9.8~17.1)	—	12.6(8.9~24.6)
	R2	—	13.2(11.1~16.7)	—	12.6(9.3~15.6)
	R3	12.0(11.5~12.5)	13.7(11.4~18.3)	13.5(10.6~18.0)	—

注：「—」は調査なし もしくは、採捕数が無い。

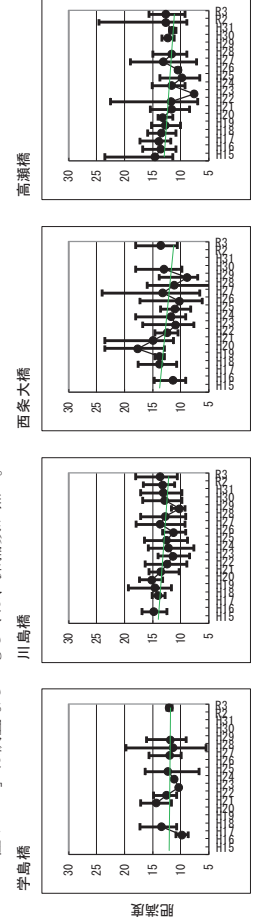


図 2.6.2.16 採捕されたアユの肥満度

3) 付着藻類

・令和3年度の傾向

本年度調査では4門4綱13目22科121種を認め、うち、春季に3門3綱11目19科101種、夏季に4門4綱12目20科97種、秋季に3門3綱10目16科80種を確認した。

アユの餌として有用といわれている藍藻類の *Homoeothrix junghina* は、春季調査と夏季調査では全地点で優勢種、秋季調査では川島橋地点平瀬を除いて第1優占種であった。

有機物量を示す溶解酸素については、宇島橋地点の瀬で全期に渡って低かったが、それ以外の地点は、特に低いことはなかった。

・調査日の流況

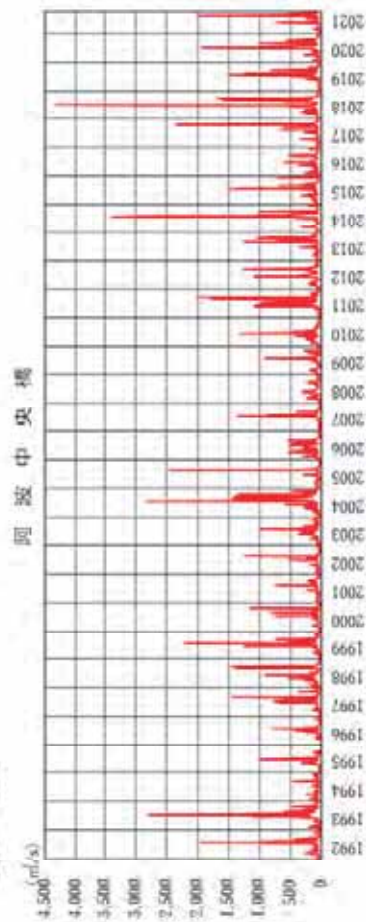


図 2.6.3.1 阿波中央橋地点での流況

・調査日及び調査地点（令和3年度）

調査地点	春季	夏季	秋季
	調査日	調査日	調査日
古野川	宇島橋	6月16日	7月28日
	川島橋	6月15日	7月27日
	西条大橋	6月16日	7月28日
	高瀬橋	6月17日	7月29日



写真2 *Ichthyophanes convergens* (1.4μm=1目盛り)



写真4 *Keratococcus* sp. (2.5μm=1目盛り)



写真1 *Homoeothrix junghina* (2.5μm=1目盛り)



写真3 *Nitzschia incuspicum* (1.4μm=1目盛り)



写真5 アユのハミ跡

・調査結果
①学島橋

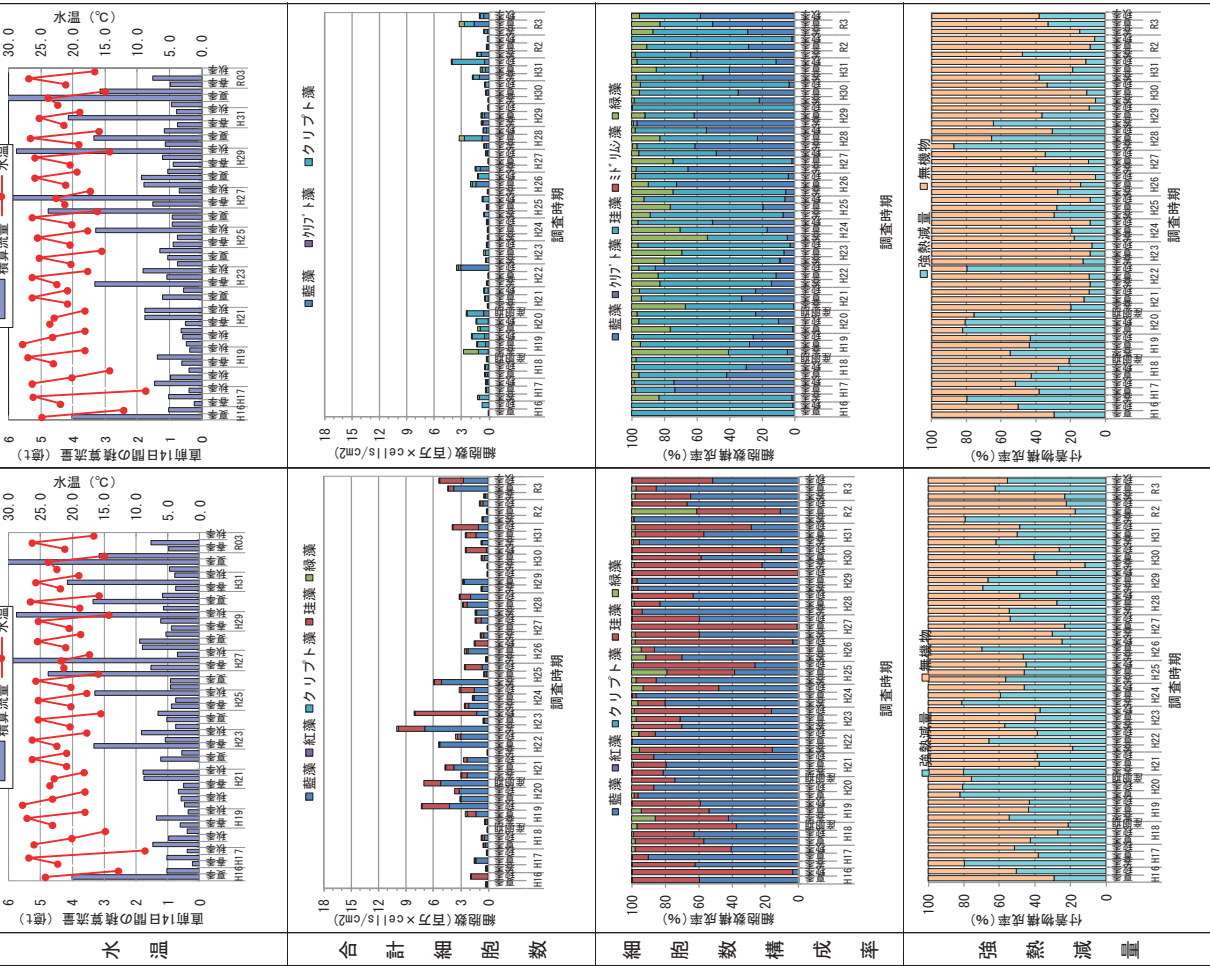


図 2. 6. 3. 2 学島橋における付着藻類の経年変化

合計細胞数をみると、調査季節では春季が約45万cells/cm²と例年と比べ少ないが、夏季が約448万cells/cm²、秋季が約536万cells/cm²となっており、平均値より高い。
細胞数構成率をみると、各季とも藍藻類が優占している。なお、優占種はアユの餌となる藍藻類の *Homoeothrix janthina* は、各季とも第1優占種であった。
強熱減量の割合は、春季が24%と低かったが、夏季と秋季は例年並みであった。

合計細胞数をみると、調査季節では春季が約52万cells/cm²と低い数値だが、夏季が約327万cells/cm²と高く、秋季が約104万cells/cm²と平均値程度となっている。
細胞数構成率をみると、春季が珪藻類、夏季と秋季では藍藻類が優占しており、各季とも第1優占種は、*Homoeothrix janthina* である。
強熱減量の割合をみると、春季が15%と例年よりとくに低く、夏季と秋季が低レベルとあるが、例年並みであった。

付着藻類の量・質から考えると、アユの餌場として良い方向に変化していると推察できる。

②川島橋
早瀬

合計細胞数をみると、調査季節毎では春季が112万cells/cm²、夏季が509万cells/cm²、秋季が273万cells/cm²と夏季が平年並みだが、その他の期間は調査期間中の平均値より少ない。

但し、細胞数構成率をみると春季と夏季では藍藻類が9割を占めているものの、秋季では57%に落ちている。優占種もアユの餌となる藍藻類の*Homoeothrix janthina*であった。

強熱減量の割合も春季65%、夏季76%、秋季62%と平均より高かった。

平瀬

合計細胞数をみると、調査季節毎では、春季が85万cells/cm²、夏季が655万cells/cm²、秋季が22万cells/cm²と、調査期間中の平均値と比較すると春季が1/3程度、夏季が1.5倍程度、秋季が1/10以下と変動が大きかった。

細胞数構成率をみると、藍藻類の構成比が春季77%、秋季92%と優占であったが、秋季は珪藻類が57%と優占となった。春季と夏季の優占種が藍藻類の*Homoeothrix janthina*で、秋季が珪藻類であった。

強熱減量の割合をみると、春季に64%、夏季に75%、秋季に33%と春季がほぼ平均値、夏季が高く、秋季は平均より若干低かった。

付着藻類の量的には低かったが、質的には*Homoeothrix janthina*が優占しており、アユの餌場として秋季を除いて適している状況であった。

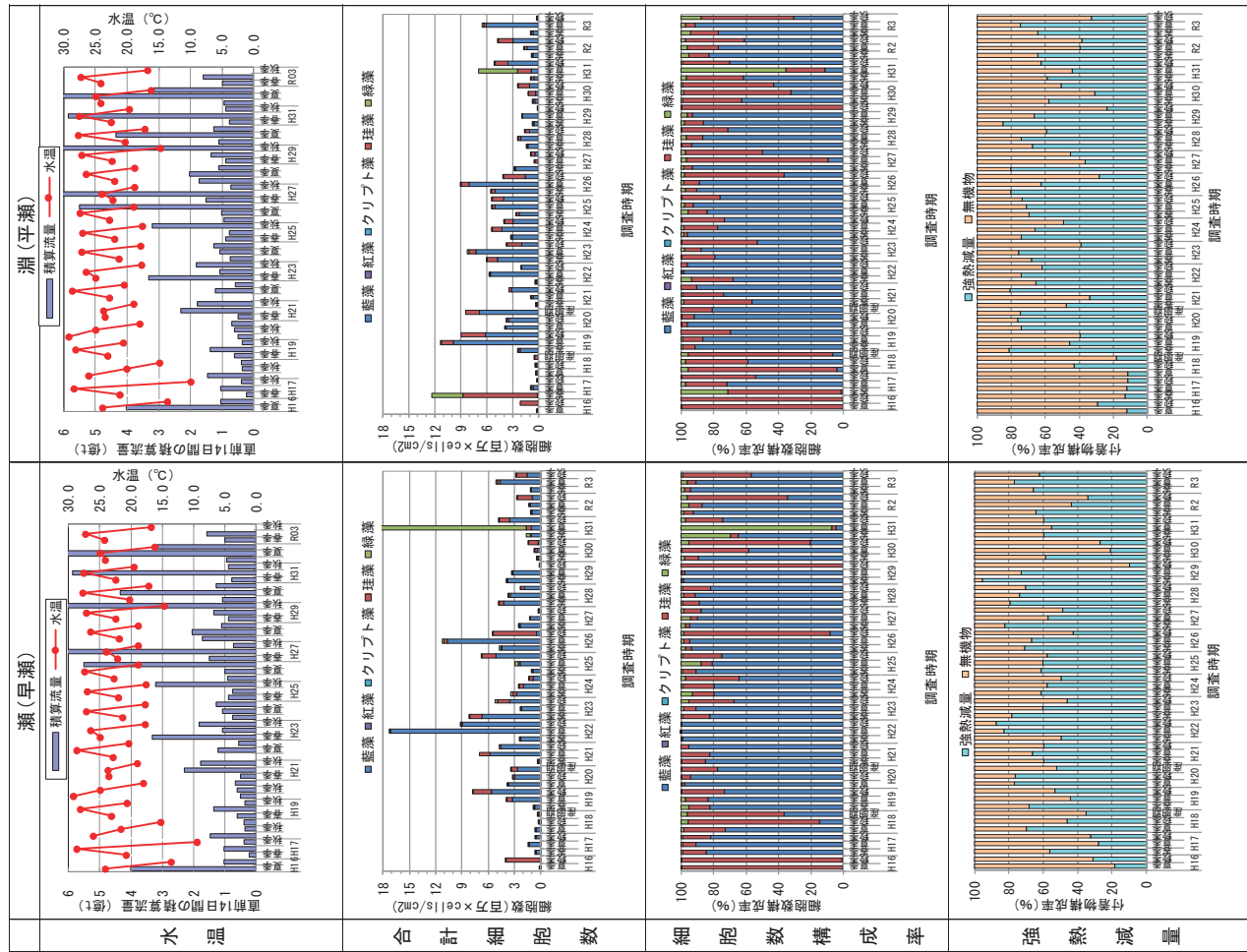


図 2. 6. 3. 3 川島橋における付着藻類の経年変化

③西条大橋

藻
合計細胞数をみると、調査季毎では、春季301万cells/cm²、夏季475万cells/cm²、秋季364万cells/cm²と、各季の平均値と比べると春季と秋季が若干低く、夏季が若干高かった。

細胞数構成率をみると、藍藻類が春季に7割、夏季に8割、秋季に6割を占めており、優占種は各季においてアユの餌となる藍藻類の*Homeothrix janthina*であった。

強熱減量の割合をみると、春季50%、夏季68%と例年並みであったが、秋季44%と低かった。

今年度の西条大橋では、付着藻類の量・質とも秋季が落ち込んでいるものの、全般的に良好であった。

淵

合計細胞数をみると、調査季毎では、春季624万cells/cm²、夏季370万cells/cm²、秋季98万cells/cm²であり、各季の平均値が春季で2倍、夏季で1.5倍と多かったが、秋季は平均値の60%程度と低かった。細胞数構成率をみると、藍藻類が春季で78%、夏季で85%、秋季で56%と優占であった、優占種は各季アユの餌となる藍藻類の*Homeothrix janthina*であった。

強熱減量の割合をみると、春季69%、夏季60%、秋季が52.4%と平年並みか、高かった。

付着藻類の量・質から考えると、今年度は比較的良好なアユの餌場であった。

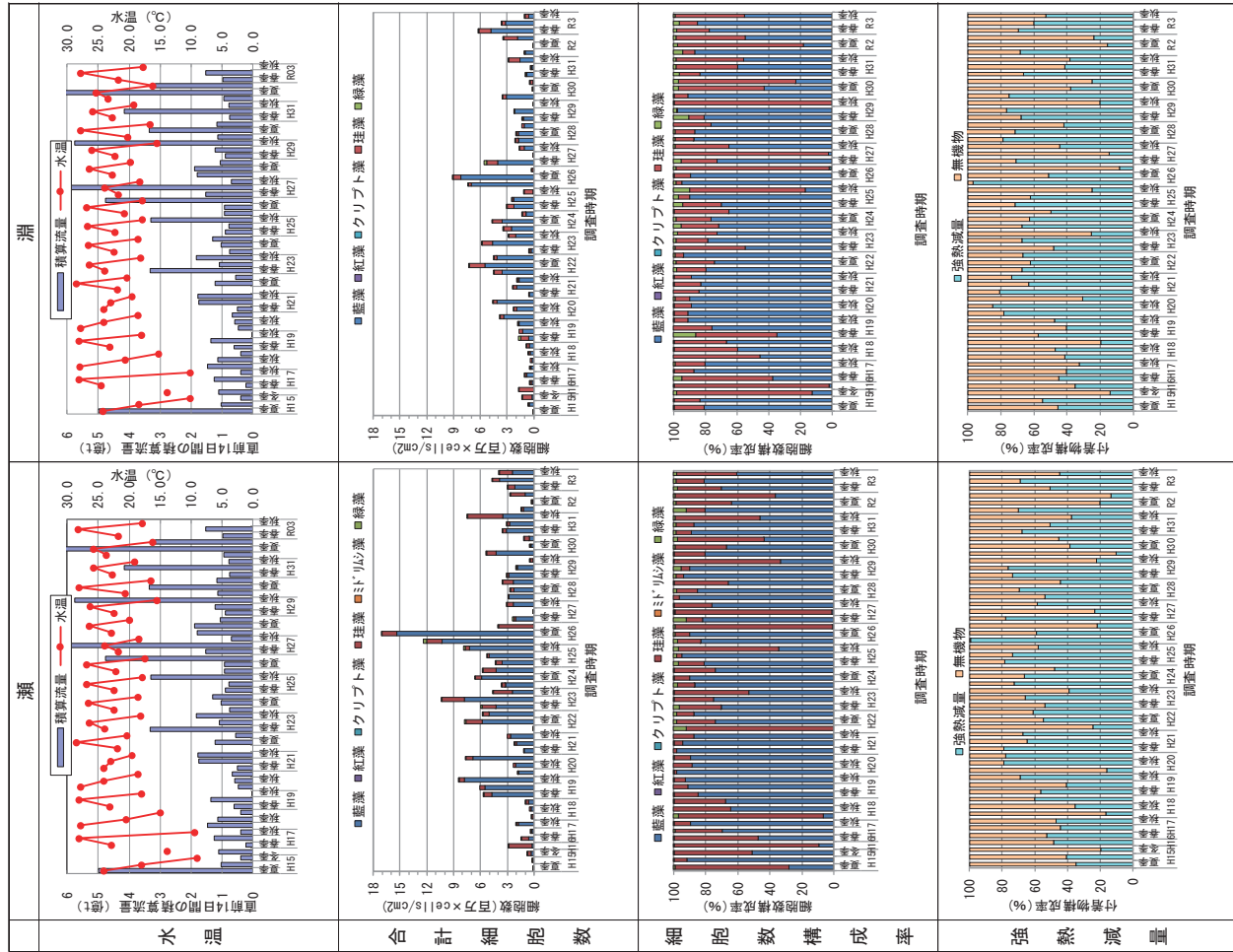


図 2. 6. 3. 4 西条大橋における付着藻類の経年変化

④高瀬橋

合計細胞数をみると、調査季毎では、春季が633万cells/cm²、夏季が211万cells/cm²、秋季が232万cells/cm²であり、全調査期間中の平均値より春季が多く、夏季と秋季が3年並みであった。。細胞数構成率をみると、藍藻類が春季では9割、夏季では7割、秋季では8割を占め、第1優占種もアユの餌となる藍藻類の*Homoeothrix janthina*であった。

強熱減量の割合をみると、春季が78%、夏季が50%、秋季が52%と例年より若干高かった。

淵

合計細胞数をみると、調査季毎では、春季が482万cells/cm²、夏季が160万cells/cm²、秋季が166万cells/cm²であり、全調査期間中の平均値より多かった。

細胞数構成率をみると、藍藻類の占める割合は春季が76%、夏季が74%、秋季が78%と優占種になっている。第1優占種もアユの餌となる藍藻類の*Homoeothrix janthina*であった。

強熱減量の割合をみると、春季72%、夏季62%、秋季63%と高く、良好である。

付着藻類の量・質から考えると、今年度の結果では、高瀬橋の瀬と淵は、アユの餌場としては優れていると推察される。

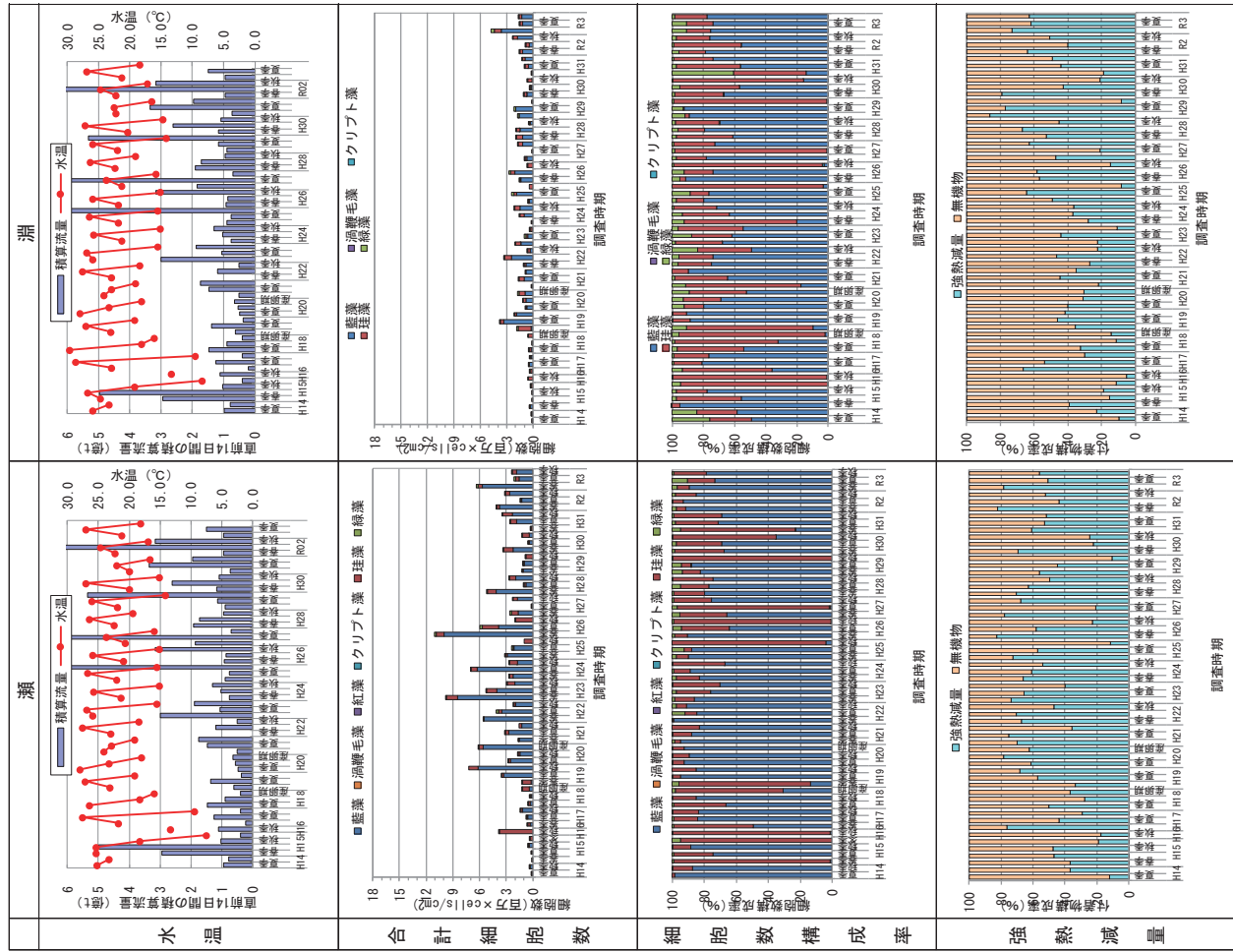


図2. 6. 3. 5 高瀬橋における付着藻類の経年変化

② 大津橋

確認種数は平成14年度が4種、平成15年度が2種、平成16年度が6種、平成17年度が4種、平成18年度が4種、平成19年度が5種、平成20年度が4種、平成21年度が5種、平成22年度が4種、平成23年度が7種、平成24年度が1種、平成25年度が1種、平成26年度が0種、平成27年度が1種、平成28年度が5種、平成29年度が2種、平成30年度が1種、平成31年度が3種、令和1年度が4種、令和2年度が4種、令和3年度が3種であり、経年を通して種類数及び個体数は、名目値に比べ少ない傾向がみられた。全調査期間を通して合計12種が確認され、二枚貝が8種と比較的多く確認された。

貝類確認種

通水試験が始まった平成26年度以降および北部幹線が開通した平成29年度以降で、貝類の出現状況に大きな変化は見られていない。なお、本調査地点は出水の影響などがほとんどなく、環境変化（特に底質）が少ないものと考えられる。このため、経年的に著しく変化することと少ないと考えられる。

調査日（令和3年度）

調査地点	春季	夏季	秋季	冬季
大津橋	6月23日	8月25日	10月20日	

表 2.6.4.2 大津橋地点における貝類確認状況

[illegible]

凡例) ○: 干潟における確認種 ●: 流水における確認種

重要種の選定基準) ①:「環境省レッドリスト2020」(環境省2020)

EX : 絶滅、EW : 野生絶滅、CR : 絶滅危惧 IA 類、EN : 絶滅危惧 I

②：「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物」ーレッドデータブックー6陸・淡水産貝類（環境省 2005年）

EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれのある地域個体群

③：「日本の希少な野生水生生物に関するデータブック」(水産庁編 1998年)

絕：絕滅危懼種、危：危急種、希：稀少種、減：減少種、傾：減少傾向、普：普通種

④：「徳島県版レックドリスト その他無脊椎動物リスト＜平成25年改定＞」（徳島県 2013年）

EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧 I 類、VU: 絶滅危惧 II 類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、AN: 留意、LP: 絶滅のおそれのある地域固有種